

# 地域とともにある学校

コミュニティ・スクールだより

## 《 新しい校舎を新しい雑巾でピカピカに 》

保護者の皆さま、たくさんの雑巾用タオルの提供をありがとうございました。

提供いただいた多くの「タオル」を、「女性会」の方々が今「雑巾」に縫って下さっています。

また、6年生児童も「ミシンを使って」挑戦することにしています。

新校舎は、1月末完成し、2月中旬に引っ越しの予定です。児童は、毎日工事用フェンス越しに完成に近づく校舎の様子を見ることができ、引越まで2か月を切り、新しい校舎での生活を考えて「これまで使った雑巾より新しい雑巾で掃除をしたい。」「新しい雑巾のほうがいい」と、新しい校舎を「大切にしたい」という気持ちが伝わってきました。

そんな気持ちに保護者の方が「タオル」を提供して応えて下さり、地域の方が「雑巾」にしてくださっています。

「地域とともにある学校」の具体像は、こんな些細な取り組みも含めるのではないかと感じました。学校、児童、保護者、地域が同じ「思い」「考え」「願い」を持ち、「それぞれの立場でそれぞれができることをする」そして、児童を支え、育てることにつながれば、この上ないことだと思いました。

これからも「地域とともにある学校」の具体的な姿を求めて行きたいと思います。

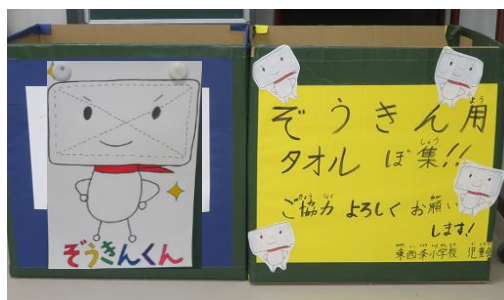
## 《 学校環境の改善に取り組みます 》

校舎が改修され、美しくなる一方で校舎周りの環境は、1年間の工事によって手入れすることができず、

「マメ柘植」や「つつじ」も剪定されないままになっており、工事が終了した2月から職員で取り掛かりたいと考えています。

職員室前の花壇も、本来なら「パンジー」や「チューリップ」を既に植えている頃で、4月の入学式には美しい花を咲かせているところですが、工事中で出来ないままなのです。

今後、その他の学校環境も含め、計画的に進めたいと思います。もしかすると、地域・保護者の方々の「協力」や「お知恵」をお願いするかもしれません。その時は、どうぞよろしくお願いいたします。



裏面もどうぞ

## 《 本校第1期卒業生 居川あゆ子さんをゲストに 》

第3学年は、総合的な学習の時間で「今と昔：東西条の秘密発見隊」の学習をしています。

先日4日（月）本校「第1期卒業生」で、校区にお住まいの「居川あゆ子」様（現：三原市立第5中学校校長）にご来校いただき、当時の様子や開校当時の学校生活について話していただきました。

西条小学校で6年生を迎え、9月の開校を東西条小で迎えるという変則な状況や、半年で卒業して西条中に通うという、あっという間の東西条小での生活だったようです。

当時の東西条の印象を児童から聞かれた居川様は、「ピッカピカだった」と言われました。それもそのはず、木造2階建て、床を歩け



ばきしむ音のする西条小学校から、近代的なコンクリートでできた東西条小は、「ピッカピカ」以外に似合う言葉はなかったことと思います。

3年生は、東西条小学校の歴史を学び、美しく生まれ変わった「ピッカピカ」の新校舎で、これまでの学習を生かし、伝統をふまえ大切に使うことができるでしょう。

## 《 吉岡ほのかさんをゲストに 3年生の福祉体験学習 》

令和5年特別全国障害者スポーツ大会鹿児島大会広島県代表種目 ボッチャの部「優勝」の「吉岡萌乃香」さんを講師に11月29日（水）福祉体験学習を行いました。

吉岡さんは、優勝の「金メダル」を持参して下さり、児童に自分が「ボッチャ」という競技を始めたきっかけ、大会に出たくて毎日練習を重ねたこと、金メダルが取れてとてもうれしかったことなどを話していただきました。

また、実際の競技に使う用具を持参して下さり、児童に持たせて下さったり、ルールややり方について説明し、使わせて下さったりと有意義な時間を設けていただきました。

吉岡さんは本校卒業生です。当時から明るくやさしい笑顔が印象的な方でした。そんな吉岡さんが「パラスポーツ」に取り組むことは予想



しませんでしたし、「優勝」と聞いて「頑張り屋さん」だったから「練習いっぱいされたんだろう」と思いました。みんなで「パラアスリート吉岡萌乃香」を応援しています。1